

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	保健課(健康推進担当)		
事務事業名	児童福祉事業経費	事業番号	76
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てできるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	乳幼児及び児童(こども)に対し、医療給付金を支給。 給付範囲:小学生以下の入院外及び高校生以下の入院の医療費(訪問指定看護を含む)※保険適用外医療費等を除く。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	疾病の早期発見と早期治療により、こどもの健康を保持し、保護者の経済的な負担軽減を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 医療費助成件数(延べ件数)	24,953件	24,953件	25,866件	22,794件	19,223件	24,114件	27,000件	27,000件
2 医療費助成額	57,648千円	57,648千円	54,375千円	51,201千円	40,169千円	45,540千円	61,200千円	61,200千円
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R1 予算		R1 決算		R2 予算
				55,645		45,540		67,728
内訳	国道支出金			19,635		16,537		20,758
	地方債							
	その他			3,539		1,691		17,003
	一般財源			32,471		27,312		29,967
人員(人工)				2.00		2.00		2.00
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)				15,386		15,386		15,386
総事業費(=事業費+職員人件費)				71,031		60,926		83,114
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				3		3		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				2		1		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	平成28年4月より、医療給付助成対象を中・高校生の入院まで拡大措置を行った。 平成30年8月より、北海道内の医療機関窓口で助成を受けられる現物給付化を実施。
今後の動向・市民ニーズなど	平成30年より、北海道内の医療機関窓口で助成を受けられる現物給付化を実施。 令和2年8月より医療給付助成対象を中高生の外来まで拡大する。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	疾病の早期発見と早期治療及び保護者の経済的負担の軽減を図っている
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 医療費制度に基づく助成のため
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 平成30年8月より、北海道内の医療機関窓口で助成を受けられる現物給付化を実施。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 医療費制度に基づく助成のため
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない ひとり親、重度等他の医療制度もあるが、各々担当が別になっているため、統合する可能性は今のところない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 3歳未満及び非課税世帯については、初診時一部負担 3歳から就学前については、保険適用2割負担のうち、1割自己負担、残り市負担 小学生から高校生については、保険適用3割のうち、1割を自己負担、残り市負担

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)		
事務事業名	特定教育・保育施設運営経費(多子世帯保育料無料化事業等)	事業番号	79
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	保育所・幼稚園・認定こども園入所児童の保護者
	対象者の今後の予想	少子化による減
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	満22歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯の第3子目以降の保育所・幼稚園・認定こども園保育料等を無料とし、また世帯年収640万円未満の多子世帯の第2子目(3歳未満まで)の保育所保育料を無料とする。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	多子世帯の経済的不安を解消し、安心して子育てができる環境を推進する。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 保育料等無料化の対象世帯	82世帯	82世帯	98世帯	94世帯	99世帯	100世帯	78世帯	78世帯
2 保育料等無料化の対象児童数	92人	92人	109人	102名	105人	109人	87人	87人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R1予算		R1決算	R2予算	
				23,560		21,356	18,845	
内訳	国道支出金			7,277		5,493	6,123	
	地方債						0	
	その他			16,283		15,863	12,722	
	一般財源			0		0	0	
人員(人工)				0.08		0.08	0.08	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)				615		615	615	
総事業費(=事業費+職員人件費)				24,175		21,971	19,460	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				242		220		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				222		202		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	子育て支援サービスの充実のため、平成27年度から第3子目以降及び平成29年度から所得制限はあるものの第2子目の無料化事業を開始しており、今後の推移を見据え事業を継続する。
今後の動向・市民ニーズなど	多子世帯は、子育てに係る費用負担が家計に及ぼす影響が大きいため、経済的負担軽減のニーズは高いものと考えられ、継続した支援が必要である。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	多子世帯の負担軽減に結び付いており、経済的支援について有効性が高い。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	個々の行政サービス等利用に係る費用が対象であるため、不可能である。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	現状維持とするが、継続課程において、国等の施策を踏まえながら進めていく。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	個々の行政サービス等利用に係る費用が対象であるため、必要性がない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	保育サービスの利用に限定された事業であるため、可能性はない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	経済的な負担軽減が主な目的であることから、必要性がない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)		
事務事業名	ひとり親家庭等医療給付経費	事業番号	83
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	ひとり親家庭等の児童・保護者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	ひとり親家庭等の医療機関等の自己負担助成のほか、3歳未満の児童及び市民税非課税世帯の初診時一部負担金の免除を実施	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	医療給付事業を通じ、ひとり親家庭等の経済的自立を支援し、健康増進及び福祉の増進を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 医療費助成件数	5,496件	5,496件	4,965件	4,534件	4,655件	4,784件	5,500件	5,500件
2 初診時一部負担金免除件数	934件	934件	1,136件	1,717件	1,999件	2,176人	940件	940件
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R1予算		R1決算	R2予算	
				15,223		12,947	14,764	
内訳	国道支出金			6,201		6,221	6,399	
	地方債			0		0	0	
	その他			2,372		216	1,516	
	一般財源			6,650		6,510	6,849	
人員(人工)				0.33		0.33	0.33	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)				2,564		2,564	2,564	
総事業費(=事業費+職員人件費)				17,787		15,511	17,328	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				4		3		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				8		7		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	平成27年度より、3歳未満児及び市民税非課税世帯の初診時一部負担金の免除を実施している。
今後の動向・市民ニーズなど	ひとり親家庭は経済的に厳しい状況に置かれている場合が多く、継続支援のニーズは高い。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 保護者の経済的支援に結び付いていることから、経済的自立や健康増進の面からも有効である。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 北海道医療給付事業に付随した拡充であるため、行政が取り組むべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 国等の動向に配慮し、事業の継続課程において、支援の向上に向けた見直しを検討
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 医療費の免除が目的であるため、必要性がない。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 障害者への医療費助成事業と同一根拠で実施済みである。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 経済的な負担軽減が主な目的であることから、必要性がない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	教育総務課学校教育担当		
事務事業名	学校給食運営経費(第3子以降給食費無料化)	事業番号	195
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	児童生徒、制度を利用する保護者
	対象者の今後の予想	同程度～減少傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	22歳以下の子どもが3人以上いる世帯に対して、3人目以降の学校給食費を無料化するための補助金を根室市学校給食協会へ交付する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	児童生徒が安定した学校生活を送る環境をつくるため、保護者の負担軽減を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 小中学校給食費無料化の対象世帯	130世帯	130世帯	141世帯	127世帯	129世帯	134世帯	130世帯	130世帯
2 小中学校給食費無料化の対象児童数	145人	145人	154人	145人	138人	150人	145人	145人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R1予算		R1決算	R2予算	
				7,109		7,072	8,061	
内訳	国道支出金			0		0	0	
	地方債			0		0	0	
	その他			7,109		7,072	8,061	
	一般財源			0		0	0	
人員(人工)				0.08		0.08	0.08	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)				615		615	615	
総事業費(=事業費+職員人件費)				7,724		7,687	8,676	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				58		57		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				51		51		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	学校給食費無償化における対象者の拡充として、食材等の高騰に伴う給食費の値上げによる子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、値上げ相当額を学校給食協会に補助した。
今後の動向・市民ニーズなど	多子世帯にとって、学校給食費は相当な負担となることから、ニーズは多い。 また、給食費の完全無償化を望む声も出ている。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	多子世帯の経済的負担の軽減に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 扶助費については、市が政策的に実施すべき事業である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 適切に運用されている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 全額給食費に充てられている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 統合できる事業は見当たらない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 保護者負担の軽減のために実施していることから、一層の負担を求めることは主旨にそぐわない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	教育総務課学校教育担当				
事務事業名	学校給食運営経費(給食費一部助成)	事業番号	195		
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	児童生徒、制度を利用する保護者
	対象者の今後の予想	同程度～減少傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	近年の食材費等の高騰に伴い、学校給食費の値上げが必至となることから、保護者の経費負担増の抑制を図るため、増額に係る経費分を根室市学校給食協会へ補助する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	児童・生徒が安定した学校生活を送る環境をつくるため、保護者の負担軽減を図ることができる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)	
		H27	H28	H29	H30	R1			
1 小中学校給食費無料化の対象世帯	130世帯	130世帯	141世帯	127世帯	128世帯	134世帯	130世帯	130世帯	
2 小中学校給食費無料化の対象児童数	145人	145人	154人	145人	143人	150人	145人	145人	
3									
4									
事業費(=下記内訳計)					R1予算		R1決算		R2予算
					9,893		8,842		9,541
内訳	国道支出金				0		0		0
	地方債				0		0		0
	その他				9,893		8,842		9,541
	一般財源				0		0		0
人員(人工)					0.08		0.08		0.08
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)					615		615		615
総事業費(=事業費+職員人件費)					10,508		9,457		10,156
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					78		71		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					70		63		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	学校給食費は子育て世代にとって負担が大きく、ニーズは多いことから、給食単価の値上げ分を当市において負担を図った。 また、給食費の完全無償化を望む声も出ている。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	児童生徒を子に持つ保護者にとっては、経済的負担の軽減に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 学校給食事業は、学校給食法に基づき根室市学校給食協会が実施しており、市が政策的に実施すべき事業である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 今後、給食費の更なる値上げが生じることとなった場合、補助額の見直しについて検討が必要になる。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 全額給食費に充てられている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 統合できる事業は見当たらない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 保護者負担の軽減のために実施していることから、一層の負担を求めることは主旨にそぐわない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)				
事務事業名	子育て相談所運営経費	事業番号	240		
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	就学前の児童及び保護者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	子育て相談業務をはじめ、各種行事を通じた親子の交流支援や集いの場を提供し、子育てに関する情報提供を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	子どもの健やかな成長のための支援を通じ、保護者の育児不安や精神的負担を解消し、子育て支援体制の充実を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 子育て相談件数	106件	106件	106件	74件	69件	34件	110件	110件
2 子育て事業参加人数	3,455人	3,455人	3,588人	2,370人	2,166人	1,959人	3,500人	3,500人
3 一時保育利用人数	219人	219人	114人	111人	96人	177人	250人	250人
4								
事業費(=下記内訳計)				R1予算		R1決算	R2予算	
				6,122		6,105	8,806	
内訳	国道支出金			6,108		6,091	6,430	
	地方債			0		0	0	
	その他			14		14	21	
	一般財源			0		0	2,355	
人員(人工)				3.00		3.00	3.00	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)				23,079		23,079	23,079	
総事業費(=事業費+職員人件費)				29,201		29,184	31,885	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				859		858	/	
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				15		15		
単位コスト実績値 3(=総事業費÷成果実績値)				165		165		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	市ホームページやフェイスブックの活用のほか、広報の子育て関連のページを利用し、積極的な情報発信に努めている。 また、利用しやすい支援メニューについて、利用者の意見等を参考にしながら検討を進める。
今後の動向・市民ニーズなど	屋内で子どもを遊ばせる場や、保護者同士の交流の場の提供の要望は高く、継続した支援が必要と思われる。また、子育て環境の変化に対応するため、専門職の配置による相談機能の充実や保護者の見守りが非常に重要である。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	■結びついている □一部結びついている □結びついていない 育児不安や精神的負担の解消を目指し、母子に寄り添った支援を通じて、虐待の未然防止や要支援家庭に対する行政関係課への橋渡しなど、乳児家庭全戸訪問事業と併せ、多岐に渡る支援を担っている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	■可能 □一部可能 □不可能 子育て支援における行政サービスとして、関係機関の連携体制がスムーズに確立できる行政が政策的に実施すべきものである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	□ある □一部ある ■ない 国の補助制度を利用した事業のため、運用条件が設定されており見直し必要はない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある □一部ある ■ない 国の補助制度により、国・北海道・市の負担割合が定められている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	□ある □一部ある ■ない 類似事業がないため、可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある 一時保育については、保育料として利用料を徴収している。 その他事業については、公的な支援が目的であることから必要性がない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)		
事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業経費	事業番号	365
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	生後4か月までの乳児のいる家庭の保護者
	対象者の今後の予想	少子化による減
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	対象家庭を保健師・保育士が訪問し、育児相談や育児に関する情報提供を行うとともに、親子の心身状況や養育環境の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭への適切なサービス提供に繋げる。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	育児不安の解消、母子孤立化の防止により乳児の健全な育成環境の確保を図り、乳児家庭への支援体制の充実及び虐待の未然防止に繋げる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 乳児家庭訪問数	190件	190件	167件	147件	136件	128件	190件	190件
2 訪問率	100%	100%	98%	99%	98%	97%	100%	100%
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R1予算		R1決算	R2予算	
				4,197		4,156	3,774	
内訳	国道支出金			680		512	544	
	地方債			0		0	0	
	その他			3,517		3,644	3,230	
	一般財源			0		0	0	
人員(人工)				0.50		0.50	0.50	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)				3,847		3,847	3,847	
総事業費(=事業費+職員人件費)				8,044		8,003	7,621	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				63		63		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				83		83		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	子育て支援サービス充実のため、平成23年度より事業を開始したものであり、今後も事業を継続する。
今後の動向・市民ニーズなど	在宅訪問により家庭状況を把握することで、個々に応じた対応が可能であり、再訪問の要請に応じるなど母親の精神的不安解消に有効である。また、要支援家庭の事後支援に繋げるため、今後も切れ目なく継続した事業展開が必要である。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 訪問を通じた各種子育て支援事業や母子保健事業の情報提供に始まり、個別相談や要支援家庭の把握による保健課・児童相談室との連携等、多岐に渡る支援を担っている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 国の補助制度運用のため、自治体以外の実施が不可能である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 国の補助制度を利用した事業のため、運用条件が設定されており見直す必要はない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 国の補助制度により、国・北海道・市の負担割合が定められている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 国の制度に基づく事業であるため、可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 公的支援が目的であることから、必要性がない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	社会教育課(社会教育担当)		
事務事業名	子育て環境整備事業(児童小公園)	事業番号	12269
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	子育て・少子化対策の推進

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内の子どもたち
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	市内各町会が管理・運営している児童小公園に設置した遊具について、修繕、撤去及び新設などの整備を行い、子どもたちの安全な遊び場の確保を図る。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	子どもたちの児童小公園の利用が促進し、屋外で遊ぶ子どもたちの心身の健全育成が図られるとともに、町会などと連携した地域による子育ても進むことから、地域コミュニティの活性化が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 児童小公園内の遊具の整備数(修繕)	—	—	—	—	14基	4基	18基	—
2 児童小公園内の遊具の整備数(新設)	—	—	—	—	0基	3基	6基	—
3								
4								
事業費(=下記内訳計)					R1予算		R2予算	
					6,251		5,683	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他				6,251	5,683	6,649	
	一般財源				0	0	0	
人員(人工)					0.17	0.17	0.17	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)					1,308	1,308	1,308	
総事業費(=事業費+職員人件費)					7,559	6,991	7,957	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					1,890	1,748		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					2,520	2,330		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	遊具の整備については、市内13ヶ所の児童小公園に設置している遊具の中で、整備が必要なものから計画的に修繕等を行っているが、遊具の状態や公園の状況によっては整備の優先順位を変更するなど、整備計画を見直す必要もあると考えている。
今後の動向・市民ニーズなど	少子化や地域コミュニティの停滞が社会問題となっている中、地域に根ざした児童小公園の整備は子どもたちに安全な遊びの場を提供するとともに、地域による子育てや地域コミュニティの活性化につながることから、市民ニーズは高い。

5 事務事業の評価

	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	子どもたちが屋外で遊ぶ機会が減少している今日において、児童小公園整備は安心・安全な遊びの場を提供し、子どもたちが屋外で健全に遊ぶきっかけづくりとなっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	□可能 □一部可能 ■不可能 児童小公園に設置している遊具は市が維持管理しているため、市が実施すべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	□ある ■一部ある □ない 令和元年度現在では、市内13ヶ所の児童小公園において、遊具を34基設置しており、修繕が必要なものから計画的に整備を行っているが、遊具の状態や公園の状況等によっては整備の優先順位を一部変更する必要もあると考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある ■一部ある □ない 各公園に設置している遊具について、日頃からの点検や状態把握の徹底及び効果的な小破修繕等により、良好な状態を維持できることから、整備に係る費用の抑制が図られる。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	□ある □一部ある ■ない 本事業の目的及び効果を勘案すると、統合し得る類似した事業がない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある 市が維持管理する遊具は、多くの市民が利用する公園に設置されており、当該遊具の設置目的や性質上、費用負担を求めるときではないと考える。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	□現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) ■終期設定あり (R4年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	保健課(健康推進担当)		
事務事業名	大人の風しん予防接種助成事業	事業番号	12489
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てできるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	横ばい
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	根室市に住民登録があり、妊娠を希望する19歳以上49歳以下の女性及び妊婦の夫を対象 自己負担2,000円で接種	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	風しんは、妊婦が妊娠初期から中期に感染すると流産や死産の原因となるほか、胎児が先天性心疾患・白内障・難聴など「先天性風しん症候群」を予防するため	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 予防接種助成件数	19件	19件	9件	11件	27件	17件	50件	50件
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)			R1 予算		R1 決算		R2 予算	
			293		107		289	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他		293		107		289	
	一般財源							
人員(人工)			0.08		0.08		0.08	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)			615		615		615	
総事業費(=事業費+職員人件費)			908		722		904	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			53		42			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)			-		-			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	風しんが全国的に流行した経過があり、今後大流行する可能性もある。対象者が妊娠を希望する女性または妊婦の夫に限定されていることから、接種率は高くないが、引き続き効果的な市民周知を図っていきたい。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	風しんは、妊婦が妊娠初期から中期に感染すると流産や死産の原因となるほか、胎児が先天性心疾患・白内障・難聴など「先天性風しん症候群」にかかる原因になるため、予防接種をすることで回避することができる
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 根室市ほか、13市(H25時点)で助成している。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 風しんが全国的に流行した経過があり、今後大流行する可能性もある。対象者が妊娠を希望する女性または妊婦の夫に限定されていることから、接種率は高くないが、引き続き効果的な市民周知を図っていきたい。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 現在のところ事業の統合はないが、結核予防及び各種予防接種経費に統合することは可能である。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 定期接種ではないため、一部自己負担がある。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)				
事務事業名	ひとり親生活支援事業	事業番号	12529		
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	ひとり親家庭等の3歳未満児がいる保護者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	満3歳までの乳幼児がおり、児童扶養手当の支給対象となっているひとり親等に対し、育児用品給付券を支給する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減し、児童虐待(育児放棄)の未然防止を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)	
		H27	H28	H29	H30	R1			
1 育児用品給付券支給乳幼児数	21人	21人	14人	21人	22人	14人	20人	20人	
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R1予算		R1決算		R2予算	
				1,364		342		1,008	
内訳	国道支出金			0		0		0	
	地方債			0		0		0	
	その他			1,364		342		1,008	
	一般財源			0		0		0	
人員(人工)				0.13		0.13		0.13	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)				962		1,000		1,000	
総事業費(=事業費+職員人件費)				2,326		1,342		2,008	
単位コスト実績値1(=総事業費÷成果実績値)				166		96			
単位コスト実績値2(=総事業費÷成果実績値)				-		-			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	ひとり親等家庭支援のため平成27年度より事業を開始したものであり、今後の経過を見据え、事業を継続する。
今後の動向・市民ニーズなど	乳幼児の子どもを持つひとり親は、若年で収入が不安定な場合が多く、経済的負担軽減による継続支援のニーズは高い。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	ひとり親世帯等の経済的支援に結び付いており、生活困窮による児童虐待防止の面からも有効性が高い。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 継続的な財源確保が求められるため、困難である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 現状維持とするが、継続課程において、国等の動向に配慮しながら進めていく。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 用途を限定した給付券による支給であるため、必要はない。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 対象者が限定された事業であるため、可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 経済的な負担軽減が主な目的であることから、必要性がない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)		
事務事業名	人材確保対策事業(子育て分野)	事業番号	12717
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	幼稚園教諭・保育士・子育て支援員を目指す市民
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	子育て支援員研修の実施や、幼稚園教諭・保育士を志す学生に対し修学資金貸付を実施し、将来的な市内での子育て支援の担い手となる人材確保を目指す。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	安定的かつ良質な幼児教育や保育の提供のため、子育て支援の担い手となる人材を確保することにより、子どもが健やかに成長できる環境や体制整備の充実を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 修学資金貸付件数	-	-	-	-	7人	5人	2人	2人
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)					R1予算		R2予算	
					4,222		3,022	
内訳	国道支出金				0		0	
	地方債				0		0	
	その他				4,222		5,400	
	一般財源				0		0	
人員(人工)					0.67		0.67	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)					5,154		5,154	
総事業費(=事業費+職員人件費)					9,376		10,554	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					1,875		1,635	
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					-		-	

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	平成31年4月より、修学資金貸付者に対する返還方法をこれまでの一括返還から分割返還も可能とし、また、市内での就業機会に至らなかった貸付者で、引き続き市内での就業を希望する意思がある場合は、2年を限度として返還の猶予を新たに設定した。
今後の動向・市民ニーズなど	有資格者が不足している状況であることから、待機児童の抑制や安定した幼児教育・保育運営のため、長期間にわたり勤務することができる人材が求められている。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	子育て支援員研修の実施により、人材バンクの登録者数が増えるとともに、修学資金の貸付者についても養成機関卒業後の市内での就職が実現している。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 一定の要件を満たせば返還が不要となる等、市以外が実施することは困難である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 将来的な市内各施設の求人状況等も含めた検討が必要である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 将来的な市内各施設の求人状況等を勘案して、貸付人数を予算の範囲内とする等可能性はある。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 他事業で同一内容のものがいないため、不可能である。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 子育て支援員研修を今後実施する際には、一部自己負担金を徴収することは可能である。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	都市整備課都市公園担当		
事務事業名	子育て環境整備事業(公園)	事業番号	12743
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	子育て・少子化対策の充実

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	子育て世帯、一般市民など
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	全国的に公園施設の老朽化などに起因したケガなどが報告されており、主な原因として施設の老朽化に起因するものが多いとされていることから、安心・安全に遊ぶことができるよう、市が管理する17公園のうち、遊具が設置されている14公園の遊具等の更新や補修を実施する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	日常的な点検維持保全により、公園施設の安全性を確保し、機能回復を図り、安心・安全に利用できる環境づくりを行う。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 遊具等の公園施設の整備(改修)を実施した公園数	6公園	6公園	-	-	10公園	11公園	9公園	14公園
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R1予算		R1決算	R2予算	
				3,315		2,881	2,815	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			3,315		2,881	2,815	
	一般財源			0		0	0	
人員(人工)				0.25		0.25	0.25	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)				1,923		1,923	1,923	
総事業費(=事業費+職員人件費)				5,238		4,804	4,738	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				476		437		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				-		-		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	「公園施設の安全性確保」について、外注による保全や、直営での作業により、市民が安心して利用できる環境整備に努めている。
今後の動向・市民ニーズなど	公園施設内の安全性確保・機能回復を図り、安心して利用できる環境を継続して提供することにより、安心・安全に利用できる公園施設を求める市民ニーズに対応する。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 安心して公園施設を利用できるよう維持・管理しており、公園施設に起因したケガの事例は無い。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 都市公園法第2条の3に基づき、都市公園の管理は、設置者が責任を負うことになっているため、公園管理者である市が行うものである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 直営では出来ない基礎のある遊具更新等は外注し、直営で施工可能な健康遊具等の設置や環境整備はコスト削減のため、今後も直営で行う。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 外注については、公共事業で工法や施工単価等は基準に基づき積算されており、また、直営の作業では、資材などを市内の店から購入するなど、費用の削減に努めている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 公園内の施設整備には、遊具などの設置基準や積算・施工単価など他の事業との統合は馴染まない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 公園はオープンスペースで不特定多数の市民が利用されており、公共性の観点から現状では予定は無い。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	総合政策室		
事務事業名	(仮称)ふるさと遊びの広場整備事業	事業番号	12756
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 子育て支援の充実
	施策目標	地域で子どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	小学生以下及びその保護者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	先進地の視察、基本構想の策定、基本設計、実施設計、屋内遊戯施設の建設	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	子育て環境の充実	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 屋内遊戯施設の設置				0施設	0施設	0施設	1施設	
2 屋内遊戯施設整備運営基金の積立				2億円	3億円	5億円	5億円	
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R1予算		R1決算		R2予算
				7,700		7,658		113,520
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			7,700		7,658		113,520
	一般財源			0		0		0
人員(人工)				0.25		0.25		0.25
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)				1,923		1,923		1,923
総事業費(=事業費+職員人件費)				9,623		9,581		115,443
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				-		-		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				1,925		1,916		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	平成30年度に策定した基本構想を踏まえ、平成31年度には基本計画・計本設計取りまとめたところであり、市民委員会等でいただいた意見を反映しながら、今後、実施設計を行い建設工事に着手する。
今後の動向・市民ニーズなど	子育て世代を中心とした市民からの要望が高く、パブリックコメントでも多くの意見をいただくなど関心の高さが伺える。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	季節や天候に左右されずに子どもたちが自由に遊ぶことができる屋内遊戯施設の整備が求められており、子育て環境の整備として有効性は高い。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 子育て環境整備として、市が政策的に推進すべき事業である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 屋内で遊べる施設は市民ニーズが高く、現状どおり推進するべきである。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 国等の補助制度の活用について検討している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 現状では関連する事業はない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 気軽に利用できる自由来館型の施設運営を目指しており、利用料は原則無料としている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	市立根室病院企画管理課(企画管理担当)				
事務事業名	周産期医療体制整備事業	事業番号			
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-3 地域医療の充実
	施策目標	地域医療が充実し良質な医療を受けることができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	医療サービスを受ける市民
	対象者の今後の予想	横ばい又は減少
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	周産期の母児の安全性と健康の確保及び分娩から退院までの体制整備を目的とし、本年度42件の分娩を実施した。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	周産期の母児が、分娩から退院までを安心・安全に過ごすための医療サービスの提供を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 常勤医師数						2人	2人	2人
2 助産師数						3人	3人	6人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		R1予算		R1決算		R2予算		
		88,257		95,144		114,600		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	88,257		95,144		114,600		
	一般財源	0		0		0		
人員(人工)		0.08		0.08		0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)		615		615		615		
総事業費(=事業費+職員人件費)		88,872		95,759		115,215		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		44,436		47,880				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		29,624		31,920				

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	ニーズに応じた購入に努めている。
今後の動向・市民ニーズなど	周産期の母児が、分娩から退院までを安心・安全に過ごすための医療サービスの提供を図るため、今後も継続していきたい。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	出産に向けた様々な不安の解消や、母児の健康管理等の充実が図られ、42件の分娩を実施した。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 市立根室病院の周産期医療体制整備として実施するため、市以外が取り組むことは不可能。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 今後も体制維持に努めていく必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 周産期医療体制の維持に必要な事業費であり、基本的には単位コストの工夫はできないものの、一部、診療材料の選定等による単位コストの減少が図られるものもある。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 周産期医療体制整備事業は他の事業と統合する可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 周産期医療体制を整備するために受益者から負担をいただく可能性はない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月